

同和問題をはじめとする様々な人権課題の解決に向けて尽力した人々

2015 特別展

同和問題をはじめとする 様々な人権課題の解決に 向けて尽力した人々の パネル展

人権とは、すべての人に等しく認められた普遍的権利です。しかし、人権そのものがはじめからあったわけではありません。その時代やその地域において、人権を認められなかった人々やそれを許さなかった人々の闘いや運動によって、一つひとつの人権が獲得された歴史があります。人生の大半をそういった闘いや運動に捧げ、人々に希望を与えた先人たちの歩みを振り返り、生まれながらに持っている「人権」について、もう一度見つめ直してみませんか？



会場 久留米市人権啓発センター展示室横ろう下 (えーるピア内)

期間 2015年 7月1日(水) ~ 8月30日(日)

7月20日(月)、31日(金)は休館日になっています。

入場料 無料 ★駐車場有(有料)ただし、30分以内は無料

世の中には、様々な人権課題があります。同和問題をはじめとして様々な人権課題に真摯に向き合った人々を紹介

B2 : 23枚

同和問題に生涯を捧げた松本治一郎、阪本清一郎。ユダヤ人虐殺に対し、命のビザを書き続けた杉原千畝。また世界に目を移すと、貧しいインドの人々のために命をささげたマザー・テレサ、ノーベル平和賞の賞金もその人たちのために使ったという話は有名です。日本及び海外で人権課題のために尽力した23名にスポットを当てました。是非、後世に残したい、語り続けたい人物です。